



2020年10月8日

各 位

株式会社 鳥取銀行

2020年度上期「とりぎん青い鳥基金」の贈呈式の実施について

～ 持続可能な地域づくりを応援する助成事業で SDGs の目標達成に貢献します ～

株式会社 鳥取銀行（頭取 平井 耕司）では、公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター（理事長 齋藤 明彦）と協働し、鳥取県内で持続可能な地域づくりのための社会課題解決に取り組む団体を支援しております。

2020年4月の同事業リニューアル後、第1回目となる2020年度上期につきましては、運営委員会（委員長 松田 章義氏）による厳正な選考の結果、下記3団体への助成を決定し、贈呈式を実施いたしましたのでお知らせします。

当行では今後も「未来の変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行」を目指し、さまざまな機関と連携した地域貢献の取り組みを推進してまいります。

記

| | |
|--------|--|
| 団体名 | 認定 NPO 法人 ハーモニカレッジ |
| 活動名 | 『うまッシュルームプロジェクト～今・ここでできる循環型社会～』 |
| 贈呈式の様子 |   |
| 活動内容 | かつて日本の農村では当たり前だった物質循環型の生活様式を参考に、鳥取市郊外にある空山ポニー牧場で、日々廃棄される馬糞などの廃材や、水路などの地の利を生かし、エネルギーと農産物を作り出す活動。専門的な知識を学び、参加者同士で知恵を出しあう場を設け、アクティブラーニングや子どもたちの対話的学びを実践する。 |

| | |
|--------|--|
| 団体名 | 浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会 |
| 活動名 | 『明治・大正・昭和 20 年代まで水田耕作に利用された水運網の船巡りと当時の足踏み式揚水車を体験する農業体験教室』 |
| 贈呈式の様子 |   |
| 活動内容 | 現在でも集落内に残る農業歴史遺産ともいえる「川戸（かわど）」や水運網を船で巡り、昔の水田耕作の歴史を体験する活動。福部未来学園の児童とともに学園の「みらいカリキュラム授業」の一環としても取り組み、地域の伝統文化、農業などの直接体験授業で、知識の習得と地域との交流を深める機会とする。 |

| | |
|--------|--|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 発達障がい児親の会 CHERRY |
| 活動名 | 『子ども農家さんプロジェクト』 |
| 贈呈式の様子 |   |
| 活動内容 | 鳥取県の豊かな自然や農作物に触れることが少ない子どもたちに、農作物生産の一連のサイクルを体験してもらい、地域の豊かな自然の恵みを感じる機会を提供する活動。農業を通じて地域への誇りを楽しく形成し、流通や販売を経験することで、ビジネス視点も学習できる。 |

【ご参考】「とりぎん青い鳥基金」とは

「とりぎん青い鳥基金」は、公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター（理事長 齋藤 明彦）と協働し、鳥取県内で持続可能な地域づくりのための社会課題解決に取り組む団体を支援する基金です。SDGs（持続可能な開発目標）の「目標 4：質の高い教育をみんなに」および「目標 11：住み続けられるまちづくりを」を基準とし、「とりぎん青い鳥基金」運営委員会の審議により助成先を決定します。



以上

《本件に関するお問合せ》
 営業統括部（松本）・経営統括部（高橋）
 TEL 0857-37-0263・0260